

学校教育目標		めざす子どもの姿（中期的目標）		総合評価								
にこにこ笑顔 どきどき挑戦 どんどん響き合う 傍陽の子		○健やかな心と体…命と健康を大切に子ども、友達とともに体を動かし遊ぶ子ども ○確かな学力…課題を持って粘り強く解決する子ども、自分の考えを持ち深める子ども ○豊かな心…思いやりの心で友達に接し、互いに協力し合える子ども		・学級、縦割り班活動、児童会活動等を通して、自分の課題に取り組み、他の人を支えある姿勢が多く見られた。困っている子どもに心を寄せて考え合い、課題を乗り越える姿も見られた。 ・話し合いや情報交換の場面がある授業をつくりだし、子どもが自分で考えを深める姿が目立った。授業全体の構成や手立てについて研究を進める必要がある。 ・「学校は楽しい」と感じている子どもが多くいる。授業に前向きに取り組んでいる。こうした良さは今後も大切にしたい。								
		今年度の重点目標		評価方法	成果と課題			A	B	C	D	改善策・向上策
		1	笑顔で挨拶しよう	アイウエオ	常に同じ気持ちで挨拶出来る子どもが増えてきている。自分から先に挨拶ができるとなおよい。				○			引き続き、職員から率先した挨拶と児童会のあいさつ活動を支援することで、自分から挨拶する気持ちを育てる。自分から挨拶する場を校外で設定する。
		2	本気で取り組もう	アイウエオ	音楽会、マラソン大会などに本気で取り組む姿が多く見られた。授業に落ち着いて取り組んでいる。				○			前向きに取り組むよさを今後も継続できるように、指導方法等に配慮していく。
3	「わかった」「できた」で自信をつけよう	アイウエオ	授業の振り返りや個別指導、基礎的な学習の積み重ねなどを通して「わかった」「できた」という気持ちを持った。				○			声かけや振り返りを通して自己肯定感を高める。個別指導とともに授業のユニバーサルデザイン化について研究を行い実践する。		
領域	対象	評価項目	評価の観点	評価方法	成果と課題			A	B	C	D	改善策・向上策
学校教育	学習指導	子どもが本気で取り組む授業づくり	子どもが自ら活動できる場を設定し、授業の三観点（ねらい・めりはり・見届け）を軸にした授業改善に努めたか。	アイウエオ	子どもが主体的に動く場面が増えてきた。新学習指導要領の実施に向けて、主体的対話的で深い学びのあり方を職員が共通理解してすすめる必要がある。				○			授業づくりについて、新学習指導要領を理解し研究を進める。授業がよくなる三観点を意識した授業づくりに引き続き努める。
		自信とやる気を育む	意欲的な取り組みを促し、心と体を開放させて自分の思いを表現させる指導や支援を行ったか。	アイウエオ	挙手発言や歌声など、学年の発達段階や個人の課題に沿った成長が見られた。明るい表情で学校生活を送る姿を大切にしたい。				○			学習に対して消極的な児童に対し、児童の実態や背景を掴んだ上での支援や配慮を考える。
		「わかった！・できた！」を感じる授業づくり	子どもが「わかった！」「できた！」という喜びを感じ、自分に自信が持てる学習活動を展開したか。	アイウエオ	基礎基本となる学習を、家庭学習や「そえひの時間」を使って固めることで、自信につなげた。子どもがさらに実感を持てる指導・支援が必要である。				○			個別指導の他に、子どもを授業に惹きつける方法を研究する。授業のユニバーサルデザイン化を参考にする。
		子どもと共に創る授業づくり	共働的な活動や話し合いなどでかわりを深めることを通して、より深い学びとなる授業づくりに努めたか。	アイウエオ	話し合いの場を設定し、考えや情報を交換し考え合う機会を設ける授業とすることができた。				○			目的に沿った話し合いにするために必要な指導や支援について、さらに研究を深める必要がある。
	生徒指導	挨拶・返事・感謝の言葉	教師が子どもと関わりながら、「はい」の返事・「ありがとう」の感謝の言葉を伝え合い、コミュニケーションに結びつける指導を行ったか。	アイウエオ	児童会活動、職員からの挨拶等を通して、活発な挨拶が交わされた。自発的に挨拶できる姿がもっと増えるとよい。				○			積極的に声を掛けて挨拶ができる雰囲気づくりをするとともに、自発的に挨拶ができる場を校外で設定していく。
		校舎や公共物を大切に する指導	異学年交流を図りながら、自分と向き合う清掃を行うことで、校舎校地や公共物を大切に育つ態度を育成する指導を行ったか。	アイウエオ	縦割り清掃や縦割り班遊びを通して、異学年のつながりができてきている。つながりを活かして公共物を大切に指導まで行き着くとよい。				○			縦割り清掃の振り返りを通し、公共の場所を美しく保つという清掃の目的を意識させる。
学校運営	学校づくり	家庭・地域との連携	家庭・地域の声を真摯に受け止め、学校運営に活かそうとしたか。	アイウエオ	学校評価アンケート、学校評議員会、「傍陽の子どもを育む会」等を通じていただいた意見を検討してきた。				○			今後もいただいた意見について誠実に受け止め、学校学級経営に活かしていく。
		クラブ活動や地域の方に学ぶ学習を仕組み、家庭・地域の方と連携して、教育活動の充実ができたか。	アイウエオ	多くの地域の方の協力を得て充実した教育活動が展開できた。見守りやふれあい広場などの新規の活動を立ち上げ、軌道に乗っている。				○			学校のニーズを明らかにして地域に協力を仰ぐとともに、地域と学校がよりよい関係を築くよう運営する。	
	情報発信	学校の願いや児童が活躍している様子等が伝わる情報が発信できたか。	アイウエオ	学年・学校だよりやホームページを通じて、学校の様子を発信できた。家庭や地域が知りたい情報をさらに発信する必要がある。				○			家庭や地域の意見をききながら、必要とされる情報の発信に努める。	